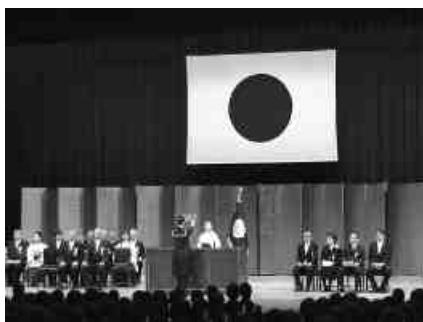


2月28日（木）武庫川女子大学附属高等学校第71回卒業証書授与式が公江記念講堂で行われました。藤森校長先生は式辞の中で、「今や、武庫川学院は、卒業生十九万人に及ぶ全国有数の女子総合学園として発展してきました。80周年の記念式典を目前にして、これから90周年、100周年を目指して、より大きな学園として発展することを切に願っています。そのためには、本校を卒立つ、みなさんの力が必要です。大学に入り、さらにその先にある社会で生き抜いていくための素地は完成しました。さあ、ここからは、思う存分自分の持てる力を發揮して羽ばたきましょう。」と述べました。

在校生代表の川井彩さん（高2）は、

第71回卒業証書授与式

～325名の新たな旅立ち～



高校三年

高校三年生が、浜甲子園キャンパスに登校する最後の日である2月26日（火）に、「別れの式」と「記念植樹」が、午後からは「卒業記念講演」が武庫川女子大学公江記念講堂で行われました。

§別れの式§

山本あすかさん（高3）の言葉です。

「これから私たちはそれぞれの夢を実現させることで、この学校を卒業し、新しい道へと進みます。たとえ数多くの困難が待ち受けていたと

いてください。そして、年齢を重ねても、いつまでも輝き

を失わず、輝き続けください。後輩へのよき指針となるたまにも」とはなむけの言葉を述べられました。

それでも、六年間または三年間で出会えた優しさを支えに、精いっぱいがんばっていきたいと思います。



「結 ゆい一」

中学三年学年主任 太田榮一



中学二年で学年主任のバトンを受け取りました。君たちとともに歩んだ二年間、私はとても楽しかった。忙しかったけれど、担任の先生の次に君たちの近いところにいられることが、私にとって何よりもうれしいことでした。

二年生の道徳で、みんなで「星の王子さま」を読みました。優しい挿絵に癒やされました。内容は難解でわかりにくるものでした。私自身何度も挑戦しましたが、君たちのおかげでやっと読み切れました。キッネが王子さまにプレゼントをする場面があります。「心で見ないと、ものごとはよく見えない。肝心なことは、目に見えない。」ということばのプレゼントでした。君たちに、「目に見えない大切なこと」を見つけてもらえるかもしれない、そう思って授業をしてきました。マザー・テレサや杉原千畝、ガンジーやキング牧師などの人々から得たことや、友達や先輩、家族の方々との関わりのなかで気づいたことを、これから的生活のなかで大切にしてください。

二年生の終わりに、「三年生で『結ゆい一』を歌つてほしい」と、君たちにお願いをしました。たまたま、年末に紅白歌合戦を見ていたときに流れていた曲でした。「どんなにがんばったってうまくいくわけじゃないけど夢は描いた人しか叶えられない」「自分のためにだけ乗り越えられないときが今あるから僕たちはなにより強い絆で結ばれている」とこの部分も優しくて、力強い。みんなで自指していく先を示してくれているように感じました。卒業式で君たちの歌声が聞ける。ドキドキします。

苦しい、つらい体験をしたからこそ見ることができる景色が必要あります。神様は、決して耐えられない試練をお与えにならない。試練とともにそれに耐えられるよう、逃れる道も備えていくください。聖書にあります。くじけそうになった時、勇気と希望を持つて、心を込めて行える人であってください。君たちの成長していく姿を、楽しみにしています。



3月号
(第365号)

80th
武庫川女子大学
附属中学校・高等学校

送辞の中で「私たち在籍生は、これから、先輩方が築きあげられた武庫川学院の伝統を受け継ぎ、さらなる発展を目指して精進して参ります。」と誓いました。

卒業生総代の上堀内愛理さんは、学校生活を振り返りながら、高校三年生の武庫川フェスティバルが成功したこと、修学旅行でクラスメイトとの絆を深めたこと、体育大会での作品の完成の喜び、そしてクラブ活動の素晴らしさを伝えました。そして最後に「みんなが傍にいてくれたから、今日という日を迎えることができました。みんなとだから、何気ない毎日が、何ものにも代えがたい宝物になりました。七一年生でよかつたと心から思っています。本当にありがとうございます。最後に十八年間ずっとそばで支え続けてくれた家族へ。いつも変わらぬ優しさで見守ってくれ、感謝してもしきれません。ありがとうございます。これからは今までの感謝の分も親孝行できるように、自立した素敵なお大人になります。お世話になった全ての方々、本当にありがとうございます。お世話をしました」と自分を支えてくれた方々への感謝の言葉で答辭を締めくくりました。

325名の卒業生は、在校生、先生、来賓、そしてご家族の方々の温かいまなざしに見送られ、未来への一步を踏み出していきました。

高校三年生が、浜甲子園キャンパスに登校する最後の日である2月26日（火）に、「別れの式」と「記念植樹」が、午後からは「卒業記念講演」が武庫川女子大学公江記念講堂で行われました。



§記念植樹§ 田甫はるかさん（高3）の言葉です。

「第七回生の卒業にあたり、「サルスベリ」を植樹いたします。サルスベリの花言葉には

「雄弁」「愛嬌」「貴方を信じる」というものがあります。これらの花言葉は、まさに私たちを象徴するようなものだと思い、記念植樹の樹に選びました。

これからの中の成長とともに、この樹もたくましく育つことを祈願します」



講師として元わらび座舞台女優の高橋真理子氏が「好きを仕事にする」～卒業生へのメッセージ～をテーマに、講演を行われました。

講演を聞いた堤添彩乃さん（高3）は、「舞台俳優はとても大変で、見ているだけでは分からぬ苦勞があると思いました。自分の舞台を見た人に何か良い影響を与えたかったらいい」と感じるとおっしゃっていました。好きを仕事にするのは難しいかもしれないけれど、それを仕事にするためには、努力が欠かせないと私は思いました。



それでも、六年間または三年間で出会えた優しさを支えに、精いっぱいがんばっていきたいと思います。後輩の皆さん、これから勉強や進路など、いろいろな壁にぶつかる時がくるかもしれません。しかし自分自身が歩むべき道に気付くことができます。最後まで自分の気持ちとしっかり向き合い、残りの学校生活を大切に過ごしてもらいたいと思います。私たち高校三年生を今まで温かく見守ってくださった方に感謝を申し上げます。

中学卒業を迎えるにあたつて

△中学三年正副委員長会の言葉△

中学三年生の三学期になると、各クラスや各委員会で振り返りを行う機会があります。その度に様々なことがあったと思い出されます。

中学一年生の頃は、自分たちが学校に慣れることで精いっぱい、委員会としての活動はほとんどできていました。その頃、全校朝礼で前に立つ先輩方の姿を見て、自分たちが高校三年生になつたとき、先輩方のよう中心となつたのを覚えています。しかし、二年生になつて、先生方に支えられながら、自分たちでクラスや学年のことを考えて様々な行動を起こしてきました。そして三年生では、私たち生徒が中心となり、学年全体がひとつとなるイベントを行うことができました。

正副委員長会はみんなを引っ張っていく立場ですが、上手くいかないこともたくさんありました。支えてくれる友達や先生方がいることで、全てが成り立つていくのだと思います。今の正副委員長会のメンバーは委員会活動を通して苦楽を共にした特別な存在です。

中学三年間で学んだことを、高校生になつてからもさらに生かしていきたいと



△15歳の主張△

2月20日(水)中学3年生の各クラスの代表一名が卒業を前に「15歳の主張」を行いました。発表をした坂東優希さんの感想です。

「15歳の主張」のクラス代表として発表を行い、多くの学びが得られました。思うようにできなかつた部分もありましたが、先生や友達の「良かつたよ」という言葉がとても嬉しかったです。人前で自分の意見を発表することで表現力が培われ、成長に繋がると思います。貴重な経験ができたことに感謝したいです。

また、共に学んできた友達の発表は、個性豊かな発表で、その目や言葉からひしひしと



伝わる強い決意を感じました。ふだんは聞くことのできない友達の主張に心が動かされました。
15歳、義務教育も終わりを迎えようとしている今をひとつ区切りとし、決意を新たに頑張ろう。そんな勇気をもらえた一時間でした。」

2月16日(土)公江記念講堂でSE発表会が行われました。川浪ともなさん(高3)は、「私たちは、これまでSEコースで学んできたことを『Our Time TV』と題してテレビ番組のようにコーナーを設けて発表しました。それぞれの進路に向けて多忙な中限られた時間でしたが、放課後や休み時間に集まって作り上げました。みんなで協力したことで、これまでの学びの集大成にふさわしい発表になったのではないかと思います。私たちは、春からそれぞの道へと進んでいますが、進路は違つても、四十八人で作り上げてきたSE発表会、SEコースでの学びを忘れず過ごしていきたいです。」と話していました。



SE発表会

「ナーボジュを高校三年生へ

2月28日(木)に卒業する高校三年生への贈り物として「コサージュ」を作りました。昼休みや放課後の時間も利用して高校二年生全員で作り、卒業する前の2月26日(火)の全校朝礼で先輩方に贈りました。

菅野志帆さん(高2)は、「生花を使ったコサージュ作製は初めてでしたが、先輩たちのことを思いながら、一生懸命心を込めて作りました。喜んでいただけたら嬉しいです」と話してくれました。

卒業式の日、高校三年生の胸にコサージュが飾られました。



バトンツワーリング部

岡本華奈さん(高2)が、3月22日(金)～3月24日(日)に丸善インテックアリーナ大阪で行われる、第44回全日本バトンツワーリング選手権3種目出場します。全日本選手権大会に向けての抱負です。

「今回で7回目の全日本選手権大会となりますが、これまでのつらい練習を乗り越え、全国大会の切符を手にすることができました。私がここまで負です。

【バトンツワーリング部】

- ◆第44回全日本バトンツワーリング選手権関西大会2／16・17 おおきにアリーナ舞洲岡本華奈(高2)
- ・ソロストラットU18 第2位
- ・アーティスティックワール出場

【水泳部】

- ◆第41回兵庫県JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会
- 2／23・24 尼崎スポーツの森屋内プール
- 中達綾乃(高1)
 - ・100mバタフライ 2位
 - 200mバタフライ 2位
- ・アーティスティックワール出場

☆様々な分野での活躍

来られたのは、指導して下さる先生方をはじめ、家族の支えがあつてのことだと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。いつも全国大会では、思っていたような演技をすることができず、悔しい思いをして終わっています。ですが、残り少ない練習を大切にし、今年こそは満足いく演技をして、良い結果が残せるよう頑張ります。」

【4月行事予定表】	
行事内容	
1月	春
2火	○入学式(公江記念講堂 中学9:30 高校13:00)
3水	○中1オリエンテーション(9:00) ○他校出身高1オリエンテーション(9:00)・海研説明会
4木	○健康診断(中1中3高2) ○心電図(中1・校友会)
5金	○健康診断(中2高1高3) ○心電図(高1・校友会) ○胸部レントゲン(高1)
6土	休業期間
7日	
8月	○始業式・新任式・対面式(8:45 AV1) ○HR・学級写真
9火	○中2中3学力推移調査(+学年集会・HR) ○高2学力リサーチ(+学級写真・HR) ○高3(50分×3授業+学級写真・HR) ○中1高1(HR・学年集会・個人写真)
10水	B ○中1研修合宿(丹嶺)・高1研修合宿(東条湖方面) ○中2中3高2高3(45分×6授業)
11木	○中1研修合宿(丹嶺)・高1研修合宿(東条湖方面) ○中2中3高2(45分×6授業) ○高3校外研修(京都)
12金	○中1学力推移調査・高1学力リサーチ ○中2中3学力推移調査・高2学力リサーチ追試
13土	休業日
14日	
15月	○生徒役員任命式(8:35グラウンド) ○全校各委員会(16:00)
16火	○追認考査(高2高3) ○中1学力推移調査・高1学力リサーチ追試
17水	A 面談週間
18木	○高3記述模試 ○中3全国学力・学習状況調査
19金	研修団来校
20土	面談週間
21日	
22月	○第1期学費引落日
23火	B 週間
24水	内科検診・運動器検診
25木	休業日
26金	休業日
27土	休業日
28日	
29月	昭和の日
30火	国民の休日